

# 飼料作物栽培カレンダー

奨励品種で収量アップ！ 自給飼料の増産に取り組みましょう！



春播き用

◎: 播種期 ×: 収穫期

草種	系統	奨励品種	特性	参考乾物収量* (kg/10a)	栽培管理上の要点・留意点																																													
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月																																						
					上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																																		
トウモロコシ	早播き用	(選定中)	—	—	<table border="1"> <tr> <td>播種量</td> <td>2~2.5kg/10a</td> </tr> <tr> <td>栽植様式</td> <td>点播(条間70~80cm、株間20~30cm)</td> </tr> <tr> <td>雑草防除 (10a当たり 散布量)</td> <td>①ラッソー乳剤 ②ゴーゴーサン乳剤 ③ゲザンゴールド</td> </tr> <tr> <td>病害虫防除</td> <td>こま葉枯れ病、紋枯れ病等が多発する圃場は連作しないこと 近年、県内でも「ツマジロクサヨトウ」の発生が見られることから早期 発見、早期防除に努めること</td> </tr> <tr> <td>収穫適期</td> <td>黄熟期(絹糸抽出期から30~40日後)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>湿害に弱いので、排水対策を徹底すること</td> </tr> </table>												播種量	2~2.5kg/10a	栽植様式	点播(条間70~80cm、株間20~30cm)	雑草防除 (10a当たり 散布量)	①ラッソー乳剤 ②ゴーゴーサン乳剤 ③ゲザンゴールド	病害虫防除	こま葉枯れ病、紋枯れ病等が多発する圃場は連作しないこと 近年、県内でも「ツマジロクサヨトウ」の発生が見られることから早期 発見、早期防除に努めること	収穫適期	黄熟期(絹糸抽出期から30~40日後)	その他	湿害に弱いので、排水対策を徹底すること																						
					播種量	2~2.5kg/10a																																												
栽植様式	点播(条間70~80cm、株間20~30cm)																																																	
雑草防除 (10a当たり 散布量)	①ラッソー乳剤 ②ゴーゴーサン乳剤 ③ゲザンゴールド																																																	
病害虫防除	こま葉枯れ病、紋枯れ病等が多発する圃場は連作しないこと 近年、県内でも「ツマジロクサヨトウ」の発生が見られることから早期 発見、早期防除に努めること																																																	
収穫適期	黄熟期(絹糸抽出期から30~40日後)																																																	
その他	湿害に弱いので、排水対策を徹底すること																																																	
					<table border="1"> <tr> <td colspan="4">(10a当たり)</td> </tr> <tr> <td>元肥</td> <td>牛ふんたい肥等 (3,000kg)</td> <td>窒素 5.1kg</td> <td>りん酸 8.4kg</td> <td>カリウム 14.4kg</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学肥料等</td> <td>6kg</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>追肥注)</td> <td></td> <td>3kg</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="5">注) 追肥は葉齢8~10葉期頃に施用する。</td> </tr> </table>												(10a当たり)				元肥	牛ふんたい肥等 (3,000kg)	窒素 5.1kg	りん酸 8.4kg	カリウム 14.4kg		化学肥料等	6kg	—	—	追肥注)		3kg	—	—	注) 追肥は葉齢8~10葉期頃に施用する。														
(10a当たり)																																																		
元肥	牛ふんたい肥等 (3,000kg)	窒素 5.1kg	りん酸 8.4kg	カリウム 14.4kg																																														
	化学肥料等	6kg	—	—																																														
追肥注)		3kg	—	—																																														
注) 追肥は葉齢8~10葉期頃に施用する。																																																		
スーダングラス	サイ青刈り、用	元気ソルゴー	稈径が細くロールバール適正に優れる	1,353 (2回刈り)	<table border="1"> <tr> <td>播種量</td> <td>青刈り用 2~4kg/10a ロールバール用 6~8kg/10a トウモロコシとの混播の場合 (トウモロコシ2kg+ソルガム1kg)/10a</td> </tr> <tr> <td>栽植様式</td> <td>点播(条間70~80cm) 散播</td> </tr> <tr> <td>雑草防除</td> <td>①ゲザプリムフロアブル ②ゴーゴーサン乳剤 (スーダングラスは使用できない。) ③ゲザンゴールド ※ゴーゴーサン乳剤30をソルガムに使用する場合は、覆土を 3cm以上とする。また、散播では使用しない。夏播きでは 葉害が発生することがある。</td> </tr> <tr> <td>収穫適期</td> <td>出穂前</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>青酸中毒を避けるため、早刈りには注意すること</td> </tr> </table>												播種量	青刈り用 2~4kg/10a ロールバール用 6~8kg/10a トウモロコシとの混播の場合 (トウモロコシ2kg+ソルガム1kg)/10a	栽植様式	点播(条間70~80cm) 散播	雑草防除	①ゲザプリムフロアブル ②ゴーゴーサン乳剤 (スーダングラスは使用できない。) ③ゲザンゴールド ※ゴーゴーサン乳剤30をソルガムに使用する場合は、覆土を 3cm以上とする。また、散播では使用しない。夏播きでは 葉害が発生することがある。	収穫適期	出穂前	その他	青酸中毒を避けるため、早刈りには注意すること																								
					播種量	青刈り用 2~4kg/10a ロールバール用 6~8kg/10a トウモロコシとの混播の場合 (トウモロコシ2kg+ソルガム1kg)/10a																																												
					栽植様式	点播(条間70~80cm) 散播																																												
					雑草防除	①ゲザプリムフロアブル ②ゴーゴーサン乳剤 (スーダングラスは使用できない。) ③ゲザンゴールド ※ゴーゴーサン乳剤30をソルガムに使用する場合は、覆土を 3cm以上とする。また、散播では使用しない。夏播きでは 葉害が発生することがある。																																												
					収穫適期	出穂前																																												
その他	青酸中毒を避けるため、早刈りには注意すること																																																	
					<table border="1"> <tr> <td colspan="4">(10a当たり)</td> </tr> <tr> <td>元肥</td> <td>牛ふんたい肥等 (3,000kg)</td> <td>窒素 5.1kg</td> <td>りん酸 8.4kg</td> <td>カリウム 14.4kg</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学肥料等</td> <td>5kg</td> <td>3kg</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>追肥</td> <td>追肥①注1)</td> <td>3kg</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>追肥②注2)</td> <td>5kg</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="5">注1) 追肥①: 葉齢10葉期までに施用する。 注2) 追肥②: 刈り取り後に施用する。</td> </tr> </table>												(10a当たり)				元肥	牛ふんたい肥等 (3,000kg)	窒素 5.1kg	りん酸 8.4kg	カリウム 14.4kg		化学肥料等	5kg	3kg	—	追肥	追肥①注1)	3kg	—	—		追肥②注2)	5kg	—	—	注1) 追肥①: 葉齢10葉期までに施用する。 注2) 追肥②: 刈り取り後に施用する。									
(10a当たり)																																																		
元肥	牛ふんたい肥等 (3,000kg)	窒素 5.1kg	りん酸 8.4kg	カリウム 14.4kg																																														
	化学肥料等	5kg	3kg	—																																														
追肥	追肥①注1)	3kg	—	—																																														
	追肥②注2)	5kg	—	—																																														
注1) 追肥①: 葉齢10葉期までに施用する。 注2) 追肥②: 刈り取り後に施用する。																																																		
					<table border="1"> <tr> <td>播種量</td> <td>2kg/10a ※コート種子の場合(5~6kg/10a)</td> </tr> <tr> <td>収穫適期</td> <td>出穂期~開花期</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>①種子が微細であるため、耕起と整地を丁寧に行う。 ②覆土は1~2cm程度と薄く行い、その後ローラー等 で強く鎮圧する。</td> </tr> </table>												播種量	2kg/10a ※コート種子の場合(5~6kg/10a)	収穫適期	出穂期~開花期	その他	①種子が微細であるため、耕起と整地を丁寧に行う。 ②覆土は1~2cm程度と薄く行い、その後ローラー等 で強く鎮圧する。																												
播種量	2kg/10a ※コート種子の場合(5~6kg/10a)																																																	
収穫適期	出穂期~開花期																																																	
その他	①種子が微細であるため、耕起と整地を丁寧に行う。 ②覆土は1~2cm程度と薄く行い、その後ローラー等 で強く鎮圧する。																																																	
					<table border="1"> <tr> <td colspan="4">(10a当たり)</td> </tr> <tr> <td>元肥</td> <td>牛ふんたい肥等 (3,000kg)</td> <td>窒素 5.1kg</td> <td>りん酸 8.4kg</td> <td>カリウム 14.4kg</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学肥料等</td> <td>10kg</td> <td>1kg</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>追肥</td> <td>追肥①注1)</td> <td>3kg</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>追肥②注2)</td> <td>3kg</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>追肥③注3)</td> <td>3kg</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="5">注1) 追肥①: 葉齢5葉期までに施用する。 注2) 追肥②: 1番刈り後に施用する。 注3) 追肥③: 2番刈り後に施用する。</td> </tr> </table>												(10a当たり)				元肥	牛ふんたい肥等 (3,000kg)	窒素 5.1kg	りん酸 8.4kg	カリウム 14.4kg		化学肥料等	10kg	1kg	—	追肥	追肥①注1)	3kg	—	—		追肥②注2)	3kg	—	—		追肥③注3)	3kg	—	—	注1) 追肥①: 葉齢5葉期までに施用する。 注2) 追肥②: 1番刈り後に施用する。 注3) 追肥③: 2番刈り後に施用する。				
(10a当たり)																																																		
元肥	牛ふんたい肥等 (3,000kg)	窒素 5.1kg	りん酸 8.4kg	カリウム 14.4kg																																														
	化学肥料等	10kg	1kg	—																																														
追肥	追肥①注1)	3kg	—	—																																														
	追肥②注2)	3kg	—	—																																														
	追肥③注3)	3kg	—	—																																														
注1) 追肥①: 葉齢5葉期までに施用する。 注2) 追肥②: 1番刈り後に施用する。 注3) 追肥③: 2番刈り後に施用する。																																																		
					<table border="1"> <tr> <td>播種量</td> <td>直播 4~5kg/10a 移植 4kg/10a</td> </tr> <tr> <td>病害虫防除</td> <td>「モグモグあおば」についてはごま葉枯病の発生が報告されて いるので種子消毒の徹底をすること。 「たちすずか」については、維管束病に抵抗性を持たないため、 常発地帯では作付れないこと。 なお、飼料用稲に使用可能な農薬について不明な点があれば、 下記に記載しております指導機関にお尋ね下さい。</td> </tr> <tr> <td>収穫適期</td> <td>出穂後10~40日の熟熟期~黄熟期</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>①乾田直播栽培は、3~4葉期(播種後1ヶ月頃)に入水する。 ②湛水直播栽培は、播種後出芽まで落水状態とし、苗立ちを 安定させる。 ③7月中旬以降は間断湛水とする。 ④収量を確保するために過度な中干しと早期落水を避ける。</td> </tr> </table>												播種量	直播 4~5kg/10a 移植 4kg/10a	病害虫防除	「モグモグあおば」についてはごま葉枯病の発生が報告されて いるので種子消毒の徹底をすること。 「たちすずか」については、維管束病に抵抗性を持たないため、 常発地帯では作付れないこと。 なお、飼料用稲に使用可能な農薬について不明な点があれば、 下記に記載しております指導機関にお尋ね下さい。	収穫適期	出穂後10~40日の熟熟期~黄熟期	その他	①乾田直播栽培は、3~4葉期(播種後1ヶ月頃)に入水する。 ②湛水直播栽培は、播種後出芽まで落水状態とし、苗立ちを 安定させる。 ③7月中旬以降は間断湛水とする。 ④収量を確保するために過度な中干しと早期落水を避ける。																										
播種量	直播 4~5kg/10a 移植 4kg/10a																																																	
病害虫防除	「モグモグあおば」についてはごま葉枯病の発生が報告されて いるので種子消毒の徹底をすること。 「たちすずか」については、維管束病に抵抗性を持たないため、 常発地帯では作付れないこと。 なお、飼料用稲に使用可能な農薬について不明な点があれば、 下記に記載しております指導機関にお尋ね下さい。																																																	
収穫適期	出穂後10~40日の熟熟期~黄熟期																																																	
その他	①乾田直播栽培は、3~4葉期(播種後1ヶ月頃)に入水する。 ②湛水直播栽培は、播種後出芽まで落水状態とし、苗立ちを 安定させる。 ③7月中旬以降は間断湛水とする。 ④収量を確保するために過度な中干しと早期落水を避ける。																																																	
					<table border="1"> <tr> <td colspan="4">(10a当たり)</td> </tr> <tr> <td>元肥</td> <td>牛ふんたい肥等 (3,000kg)</td> <td>窒素 5.1kg</td> <td>りん酸 8.4kg</td> <td>カリウム 14.4kg</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学肥料等</td> <td>6~10kg</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>追肥注)</td> <td></td> <td>2~3kg</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="5">注) 生育状況により行う。</td> </tr> </table>												(10a当たり)				元肥	牛ふんたい肥等 (3,000kg)	窒素 5.1kg	りん酸 8.4kg	カリウム 14.4kg		化学肥料等	6~10kg	—	—	追肥注)		2~3kg	—	—	注) 生育状況により行う。														
(10a当たり)																																																		
元肥	牛ふんたい肥等 (3,000kg)	窒素 5.1kg	りん酸 8.4kg	カリウム 14.4kg																																														
	化学肥料等	6~10kg	—	—																																														
追肥注)		2~3kg	—	—																																														
注) 生育状況により行う。																																																		
ローズグラス	—	カタンボラ	茎が細く多葉で、青刈り給与の他、容易に良質の乾草調製が可能。	—	<table border="1"> <tr> <td>播種量</td> <td>2kg/10a ※コート種子の場合(5~6kg/10a)</td> </tr> <tr> <td>収穫適期</td> <td>出穂期~開花期</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>①種子が微細であるため、耕起と整地を丁寧に行う。 ②覆土は1~2cm程度と薄く行い、その後ローラー等 で強く鎮圧する。</td> </tr> </table>												播種量	2kg/10a ※コート種子の場合(5~6kg/10a)	収穫適期	出穂期~開花期	その他	①種子が微細であるため、耕起と整地を丁寧に行う。 ②覆土は1~2cm程度と薄く行い、その後ローラー等 で強く鎮圧する。																												
播種量	2kg/10a ※コート種子の場合(5~6kg/10a)																																																	
収穫適期	出穂期~開花期																																																	
その他	①種子が微細であるため、耕起と整地を丁寧に行う。 ②覆土は1~2cm程度と薄く行い、その後ローラー等 で強く鎮圧する。																																																	
					<table border="1"> <tr> <td colspan="4">(10a当たり)</td> </tr> <tr> <td>元肥</td> <td>牛ふんたい肥等 (3,000kg)</td> <td>窒素 5.1kg</td> <td>りん酸 8.4kg</td> <td>カリウム 14.4kg</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学肥料等</td> <td>10kg</td> <td>1kg</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>追肥</td> <td>追肥①注1)</td> <td>3kg</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>追肥②注2)</td> <td>3kg</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>追肥③注3)</td> <td>3kg</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="5">注1) 追肥①: 葉齢5葉期までに施用する。 注2) 追肥②: 1番刈り後に施用する。 注3) 追肥③: 2番刈り後に施用する。</td> </tr> </table>												(10a当たり)				元肥	牛ふんたい肥等 (3,000kg)	窒素 5.1kg	りん酸 8.4kg	カリウム 14.4kg		化学肥料等	10kg	1kg	—	追肥	追肥①注1)	3kg	—	—		追肥②注2)	3kg	—	—		追肥③注3)	3kg	—	—	注1) 追肥①: 葉齢5葉期までに施用する。 注2) 追肥②: 1番刈り後に施用する。 注3) 追肥③: 2番刈り後に施用する。				
(10a当たり)																																																		
元肥	牛ふんたい肥等 (3,000kg)	窒素 5.1kg	りん酸 8.4kg	カリウム 14.4kg																																														
	化学肥料等	10kg	1kg	—																																														
追肥	追肥①注1)	3kg	—	—																																														
	追肥②注2)	3kg	—	—																																														
	追肥③注3)	3kg	—	—																																														
注1) 追肥①: 葉齢5葉期までに施用する。 注2) 追肥②: 1番刈り後に施用する。 注3) 追肥③: 2番刈り後に施用する。																																																		
WCS用稲	モグモグあおば (中晩生)	—	長稈だが稈が太く耐倒伏性に優れている。「ニシアオバ」より多収でサイレージ用としても飼料用米としても利用できる。	—	<table border="1"> <tr> <td>播種量</td> <td>直播 4~5kg/10a 移植 4kg/10a</td> </tr> <tr> <td>病害虫防除</td> <td>「モグモグあおば」についてはごま葉枯病の発生が報告されて いるので種子消毒の徹底をすること。 「たちすずか」については、維管束病に抵抗性を持たないため、 常発地帯では作付れないこと。 なお、飼料用稲に使用可能な農薬について不明な点があれば、 下記に記載しております指導機関にお尋ね下さい。</td> </tr> <tr> <td>収穫適期</td> <td>出穂後10~40日の熟熟期~黄熟期</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>①乾田直播栽培は、3~4葉期(播種後1ヶ月頃)に入水する。 ②湛水直播栽培は、播種後出芽まで落水状態とし、苗立ちを 安定させる。 ③7月中旬以降は間断湛水とする。 ④収量を確保するために過度な中干しと早期落水を避ける。</td> </tr> </table>												播種量	直播 4~5kg/10a 移植 4kg/10a	病害虫防除	「モグモグあおば」についてはごま葉枯病の発生が報告されて いるので種子消毒の徹底をすること。 「たちすずか」については、維管束病に抵抗性を持たないため、 常発地帯では作付れないこと。 なお、飼料用稲に使用可能な農薬について不明な点があれば、 下記に記載しております指導機関にお尋ね下さい。	収穫適期	出穂後10~40日の熟熟期~黄熟期	その他	①乾田直播栽培は、3~4葉期(播種後1ヶ月頃)に入水する。 ②湛水直播栽培は、播種後出芽まで落水状態とし、苗立ちを 安定させる。 ③7月中旬以降は間断湛水とする。 ④収量を確保するために過度な中干しと早期落水を避ける。																										
					播種量	直播 4~5kg/10a 移植 4kg/10a																																												
					病害虫防除	「モグモグあおば」についてはごま葉枯病の発生が報告されて いるので種子消毒の徹底をすること。 「たちすずか」については、維管束病に抵抗性を持たないため、 常発地帯では作付れないこと。 なお、飼料用稲に使用可能な農薬について不明な点があれば、 下記に記載しております指導機関にお尋ね下さい。																																												
					収穫適期	出穂後10~40日の熟熟期~黄熟期																																												
その他	①乾田直播栽培は、3~4葉期(播種後1ヶ月頃)に入水する。 ②湛水直播栽培は、播種後出芽まで落水状態とし、苗立ちを 安定させる。 ③7月中旬以降は間断湛水とする。 ④収量を確保するために過度な中干しと早期落水を避ける。																																																	
					<table border="1"> <tr> <td colspan="4">(10a当たり)</td> </tr> <tr> <td>元肥</td> <td>牛ふんたい肥等 (3,000kg)</td> <td>窒素 5.1kg</td> <td>りん酸 8.4kg</td> <td>カリウム 14.4kg</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学肥料等</td> <td>6~10kg</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>追肥注)</td> <td></td> <td>2~3kg</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="5">注) 生育状況により行う。</td> </tr> </table>												(10a当たり)				元肥	牛ふんたい肥等 (3,000kg)	窒素 5.1kg	りん酸 8.4kg	カリウム 14.4kg		化学肥料等	6~10kg	—	—	追肥注)		2~3kg	—	—	注) 生育状況により行う。														
(10a当たり)																																																		
元肥	牛ふんたい肥等 (3,000kg)	窒素 5.1kg	りん酸 8.4kg	カリウム 14.4kg																																														
	化学肥料等	6~10kg	—	—																																														
追肥注)		2~3kg	—	—																																														
注) 生育状況により行う。																																																		
					<table border="1"> <tr> <td>播種量</td> <td>直播 4~5kg/10a 移植 4kg/10a</td> </tr> <tr> <td>病害虫防除</td> <td>「モグモグあおば」についてはごま葉枯病の発生が報告されて いるので種子消毒の徹底をすること。 「たちすずか」については、維管束病に抵抗性を持たないため、 常発地帯では作付れないこと。 なお、飼料用稲に使用可能な農薬について不明な点があれば、 下記に記載しております指導機関にお尋ね下さい。</td> </tr> <tr> <td>収穫適期</td> <td>出穂後10~40日の熟熟期~黄熟期</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>①乾田直播栽培は、3~4葉期(播種後1ヶ月頃)に入水する。 ②湛水直播栽培は、播種後出芽まで落水状態とし、苗立ちを 安定させる。 ③7月中旬以降は間断湛水とする。 ④収量を確保するために過度な中干しと早期落水を避ける。</td> </tr> </table>												播種量	直播 4~5kg/10a 移植 4kg/10a	病害虫防除	「モグモグあおば」についてはごま葉枯病の発生が報告されて いるので種子消毒の徹底をすること。 「たちすずか」については、維管束病に抵抗性を持たないため、 常発地帯では作付れないこと。 なお、飼料用稲に使用可能な農薬について不明な点があれば、 下記に記載しております指導機関にお尋ね下さい。	収穫適期	出穂後10~40日の熟熟期~黄熟期	その他	①乾田直播栽培は、3~4葉期(播種後1ヶ月頃)に入水する。 ②湛水直播栽培は、播種後出芽まで落水状態とし、苗立ちを 安定させる。 ③7月中旬以降は間断湛水とする。 ④収量を確保するために過度な中干しと早期落水を避ける。																										
播種量	直播 4~5kg/10a 移植 4kg/10a																																																	
病害虫防除	「モグモグあおば」についてはごま葉枯病の発生が報告されて いるので種子消毒の徹底をすること。 「たちすずか」については、維管束病に抵抗性を持たないため、 常発地帯では作付れないこと。 なお、飼料用稲に使用可能な農薬について不明な点があれば、 下記に記載しております指導機関にお尋ね下さい。																																																	
収穫適期	出穂後10~40日の熟熟期~黄熟期																																																	
その他	①乾田直播栽培は、3~4葉期(播種後1ヶ月頃)に入水する。 ②湛水直播栽培は、播種後出芽まで落水状態とし、苗立ちを 安定させる。 ③7月中旬以降は間断湛水とする。 ④収量を確保するために過度な中干しと早期落水を避ける。																																																	
					<table border="1"> <tr> <td colspan="4">(10a当たり)</td> </tr> <tr> <td>元肥</td> <td>牛ふんたい肥等 (3,000kg)</td> <td>窒素 5.1kg</td> <td>りん酸 8.4kg</td> <td>カリウム 14.4kg</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学肥料等</td> <td>6~10kg</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>追肥注)</td> <td></td> <td>2~3kg</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="5">注) 生育状況により行う。</td> </tr> </table>												(10a当たり)				元肥	牛ふんたい肥等 (3,000kg)	窒素 5.1kg	りん酸 8.4kg	カリウム 14.4kg		化学肥料等	6~10kg	—	—	追肥注)		2~3kg	—	—	注) 生育状況により行う。														
(10a当たり)																																																		
元肥	牛ふんたい肥等 (3,000kg)	窒素 5.1kg	りん酸 8.4kg	カリウム 14.4kg																																														
	化学肥料等	6~10kg	—	—																																														
追肥注)		2~3kg	—	—																																														
注) 生育状況により行う。																																																		

\*参考収量は県畜産試験場における栽培試験結果の平均値であり、圃場条件や天候により実際の収量とは異なるため、あくまで目安としてご利用下さい。

※農薬の使用法については、ラベル等の使用上の注意点を御確認のうえ御使用ください。

秋播き用

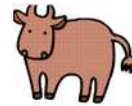
◎：播種期 ×：収穫期

草種	系統	奨励品種	特性	参考収量※ (10a当たり収量)	栽培管理上の要点・留意点																																																																																																					
					8月			9月			10月			11月			12月			1月			4月			5月																																																																																
エンバク	-	スーパーハヤテ「隼」	乾物収量が多く、耐病性にも優れる。	/	<table border="1"> <tr> <td>播種量</td> <td colspan="2">8月下旬播種 7~8kg/10a</td> <td colspan="13"></td> </tr> <tr> <td>収獲適期</td> <td colspan="2">※イタリアンライグラスとの混播 (イタリアン3kg+エンバク5kg)/10a</td> <td colspan="13"></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="2">排水対策を徹底すること。</td> <td colspan="13"></td> </tr> </table>															播種量	8月下旬播種 7~8kg/10a															収獲適期	※イタリアンライグラスとの混播 (イタリアン3kg+エンバク5kg)/10a															その他	排水対策を徹底すること。																																																					
					播種量	8月下旬播種 7~8kg/10a																																																																																																				
収獲適期	※イタリアンライグラスとの混播 (イタリアン3kg+エンバク5kg)/10a																																																																																																									
その他	排水対策を徹底すること。																																																																																																									
					<table border="1"> <tr> <td colspan="4"></td> <td colspan="3">(10a当たり)</td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">元肥</td> <td>窒素</td> <td>リン酸</td> <td>カリウム</td> <td colspan="13"></td> </tr> <tr> <td>牛ふんたい肥等 (3,000kg)</td> <td>5.1kg</td> <td>8.4kg</td> <td>14.4kg</td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td>化学肥料等</td> <td>4kg</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td colspan="4">追肥注1)</td> <td>2kg</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="12"></td> </tr> </table> <p>注1) 追肥は晩夏播きで播種後20日頃、秋播きで播種後30日頃に施用する 注2) イタリアンと混播する場合は、イタリアンの施肥設計に準ずる。</p>																			(10a当たり)															元肥	窒素	リン酸	カリウム														牛ふんたい肥等 (3,000kg)	5.1kg	8.4kg	14.4kg													化学肥料等	4kg	-	-													追肥注1)				2kg	-	-												
				(10a当たり)																																																																																																						
元肥	窒素	リン酸	カリウム																																																																																																							
	牛ふんたい肥等 (3,000kg)	5.1kg	8.4kg	14.4kg																																																																																																						
	化学肥料等	4kg	-	-																																																																																																						
追肥注1)				2kg	-	-																																																																																																				
イタリアンライグラス	極早生種	kyushu1	いもち病に強い。	1,300 (2回刈り)	<table border="1"> <tr> <td>播種量</td> <td colspan="2">3kg/10a (水稲立毛播種の場合は4kg)</td> <td colspan="13"></td> </tr> <tr> <td>収獲適期</td> <td colspan="2">出穂期~開花期</td> <td colspan="13"></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="2">水稲立毛播種は、刈取り3日前頃に、動散又は手播きを行い、稲刈り後、速やかにワラを圃場から搬出する。</td> <td colspan="13"></td> </tr> </table>															播種量	3kg/10a (水稲立毛播種の場合は4kg)															収獲適期	出穂期~開花期															その他	水稲立毛播種は、刈取り3日前頃に、動散又は手播きを行い、稲刈り後、速やかにワラを圃場から搬出する。																																																					
	播種量	3kg/10a (水稲立毛播種の場合は4kg)																																																																																																								
	収獲適期	出穂期~開花期																																																																																																								
	その他	水稲立毛播種は、刈取り3日前頃に、動散又は手播きを行い、稲刈り後、速やかにワラを圃場から搬出する。																																																																																																								
	早生種	ワセユタカ	早春までの収量が多く、水田裏作に適する。	1,196 (2回刈り)	<table border="1"> <tr> <td colspan="4"></td> <td colspan="3">(10a当たり)</td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">元肥</td> <td>窒素</td> <td>リン酸</td> <td>カリウム</td> <td colspan="13"></td> </tr> <tr> <td>牛ふんたい肥等 (3,000kg)</td> <td>5.1kg</td> <td>8.4kg</td> <td>14.4kg</td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td>化学肥料等</td> <td>9kg</td> <td>1kg</td> <td>-</td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td colspan="4">追肥注1)</td> <td>5kg</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="12"></td> </tr> </table> <p>注1) 1番刈り後に施用する。</p>																			(10a当たり)															元肥	窒素	リン酸	カリウム														牛ふんたい肥等 (3,000kg)	5.1kg	8.4kg	14.4kg													化学肥料等	9kg	1kg	-													追肥注1)				5kg	-	-												
						(10a当たり)																																																																																																				
元肥	窒素	リン酸	カリウム																																																																																																							
	牛ふんたい肥等 (3,000kg)	5.1kg	8.4kg	14.4kg																																																																																																						
	化学肥料等	9kg	1kg	-																																																																																																						
追肥注1)				5kg	-	-																																																																																																				
	タチワセ	直立型で、耐倒伏性に優れる。	1,382 (2回刈り)																																																																																																							
中生種	タチムシャ	直立型で多収であり、耐倒伏性に優れる。	1,309 (2回刈り)																																																																																																							
晩生種	マンモスイタリアンB	分けつが多く多収で、収獲適期が長く、幅広い利用が可能。	1,306 (2回刈り)																																																																																																							
	ジャイアント	再生力が強く、長期利用に適している。	1,169 (2回刈り)																																																																																																							
	エース	ややほふく型で、太茎で葉が大きく、再生力が旺盛で多収である。	1,180 (2回刈り)																																																																																																							
	ティティラ	多収で、耐倒伏性に優れ、長期利用に適している。	1,482 (2回刈り)																																																																																																							

その他

草種	奨励品種	特性
ヒエ類	イタリアンミレット	発芽と初期生育に優れ、短期間で収獲でき、乾草利用に適しているが、再生せず、耐湿性は劣る。
	青葉ミレット	草丈が高く多収で、再生も良好である。
ベレニアルライグラス	ヤツナミ	比較的短命な永年性牧草であり、品質はイタリアンライグラスに類似し、嗜好性は良い。
バヒアグラス	ベンサコラ	嗜好性良好な暖地型永年牧草で、放牧地に適する。
アカクローバー	ケンランド	草丈が高く、耐暑性に優れるが、耐寒性は劣る。
白クローバー	フィア	葉部の繁茂が旺盛で、再生力も旺盛がある。
	センチビートグラス	ノシバより発芽・初期生育が早く、葉幅も広く多収であり遊休農地等の草地化に有望な草種である。

自給飼料・土壌分析のすすめ



自給飼料の栄養価や品質は、同一の草種・品種であっても、栽培条件、収穫時期、貯蔵の状態等によって大きく変動しますので、**自給飼料を分析し、成分を確かめて給与技術の改善・向上に努めましょう!**  
また、長年にわたり飼料作物を栽培したり、家畜ふん尿を多量に施用している圃場では、土壌中の成分バランスが崩れていることがありますので、**3年に一度は土壌診断を行いましょう!**

分析項目  
(自給飼料)  
・水分 ・粗たん白質 ・粗脂肪 ・粗繊維 ・硝酸態窒素  
・りん ・カリウム ・カルシウム ・マグネシウム

(土壌)  
・pH ・カリウム ・全窒素 ・陽イオン交換容量 ・可給態りん酸  
・腐植 ・カルシウム ・塩基飽和度 ・中和石灰量 ・マグネシウム  
・硝酸態窒素

自給飼料に関する質問や飼料等の分析に関する問合せは、最寄りの農業振興センター、畜産試験場等へお尋ねください。

- 農林事務所農業振興センター
- 佐城農業振興センター (土地利用型作物・畜産担当) 0952-45-8888
- 三神農業振興センター (土地利用型作物・畜産担当) 0952-52-1231
- 東松浦農業振興センター(土地利用型作物・畜産担当) 0955-73-1121 (上場振興課)
- 西松浦農業振興センター(土地利用型作物・畜産担当) 0955-23-5128
- 杵島農業振興センター (土地利用型作物・畜産担当) 0952-84-3625
- 藤津農業振興センター (土地利用型作物・畜産担当) 0954-62-5221
- 畜産試験場(大家畜部 大家畜研究担当) 0954-45-2030
- 農業技術防除センター 0952-45-5297
- 県畜産課(酪農・中小家畜振興担当) 0952-25-7122

佐賀県農林水産部畜産課

佐賀県 <http://www.pref.saga.lg.jp/>